

九州地方会員受託マンションの被災状況概要について (第2報)

平成28年熊本地震により被災した九州地方における会員受託マンションの被災状況の調査結果は、以下のとおりです。

九州7県では7,473棟のマンションの管理を受託しています。また、今回の地震で震度7を記録した熊本県においては、29社の会員が572棟の管理を受託しています。このうち九州全体では6,926棟、熊本県では566棟を管理する会員より被災状況の回答がありました。

その結果、九州全体における建物の被災としては、大破が1棟(0.01%)、中破が65棟(0.94%)、小破が423棟(6.11%)となっています。

1. 九州地方における会員受託マンションの被災状況 (平成28年6月14日現在)

被害程度	(被害内容の概略)	棟数	割合(%)
大破以上	(倒壊や建替えが必要な致命的被害)	1	0.01
中破	(大規模な補強・補修が必要)	65	0.94
小破	(タイル剥離、ひび割れ等補修が必要)	423	6.11
軽微	(外見上殆ど損傷なし)	172	2.48
被害なし		6,265	90.46
	合計	6,926	100.00

2. 県別の会員受託マンションの被災状況内訳 (平成28年6月14日現在)

	建物の被害状況					回答 県別小計	動向調査* による 管理棟数	不明・ 未回答
	大破	中破	小破	軽微	被害無			
福岡	0	16	38	32	4,965	5,051	5,511	460
佐賀	0	0	7	0	127	134	161	27
長崎	0	0	0	0	295	295	319	24
熊本	1 (0.18%)	48 (8.48%)	348 (61.48%)	130 (22.97%)	39 (6.89%)	566 (100.00%)	572	6
大分	0	1	30	10	303	344	374	30
宮崎	0	0	0	0	148	148	148	0
鹿児島	0	0	0	0	388	388	388	0
合計	1 (0.01%)	65 (0.94%)	423 (6.11%)	172 (2.48%)	6,265 (90.46%)	6,926 (100.00%)	7,473	547

※：当協会が公表する平成27年マンション管理受託動向調査結果報告書より。会員の退会があった場合には、その棟数を減じています。

注1：本調査結果は回答のあった会員からの申告をもとに、被災状況について集計したものです。

注2：本調査結果は、6月14日時点の集計値です。今後継続して実施する詳細調査の結果により変動する場合があります。

3. 竣工年別の会員受託マンションの被災状況内訳

2. にて示した被災状況内訳に対して、集計時点で竣工年が判明しているものについて集計したものを下表に示します。

(平成28年6月14日現在)

県名	竣工年 ※備考参照	地震被害(単位:棟)				被害無し	回答 県別小計	動向調査 による 管理棟数	不明・ 未回答	
		大破	中破	小破	軽微					
		致命的な被害(建替が必要)	大規模な補強・補修を要する	相当な補修(タイル剥離・ひび割れ補修)	外観上は殆ど損傷なし・又は極めて軽微					
内 訳	福岡	昭和46年以前				4,965	5,051	5,511	460	
		昭和47年～56年			2					
		昭和57年以降			26					25
		未回答		16	12					5
		小計		16	38					32
	佐賀	昭和46年以前				127	134	161	27	
		昭和47年～56年								
		昭和57年以降			1					
		未回答			6					
		小計			7					
	長崎	昭和46年以前				295	295	319	24	
		昭和47年～56年								
		昭和57年以降								
		未回答								
		小計								
	熊本	昭和46年以前				39	566	572	6	
		昭和47年～56年	1	7	5					4
		昭和57年以降		23	236					111
		未回答		18	107					14
		小計	1	48	348					130
	大分	昭和46年以前				303	344	374	30	
		昭和47年～56年			1					1
		昭和57年以降			10					7
		未回答		1	19					2
		小計		1	30					10
	宮崎	昭和46年以前				148	148	148	0	
		昭和47年～56年								
		昭和57年以降								
未回答										
小計										
鹿児島	昭和46年以前				388	388	388	0		
	昭和47年～56年									
	昭和57年以降									
	未回答									
	小計									
計		1	65	423	172	6,265	6,926	7,473	547	
		0.01%	0.94%	6.11%	2.48%	90.46%	100%			

4. 受託管理物件の被災状況調査の実施について

6月1日に熊本県内の572棟の内、調査依頼のあった4棟について被災状況調査を実施しました。

その結果概要としては、主要構造部に損傷がみられたものは0棟、主要構造部以外の躯体損傷は軽微が4棟ありました。その他、仕上げタイルひび割れ・外壁仕上げ材の剥離が1棟ありました。結果は調査結果報告書はすでに管理会社に提出済みであり、これを管理会社より管理組合に報告し、対処する手順となっています。

熊本地震マンション被災状況調査実施結果について

平成28年6月1日に実施した、熊本地震マンション被災状況調査実施結果について報告します。

1. 調査目的

地震の被害を受けたマンションの被災状況について、主要構造部（柱、梁、耐力壁、床、コンクリート階段等）の被害の有無と補強や詳細調査の要否を判定し、補修での修復の可能性、居住者や通行人に対する安全確保などを示唆することを目的として行うもので、管理組合が建物の復興計画と修復工事の進め方を検討するための第一歩として位置付けられます。

2. 調査実施日

- ・平成28年6月1日(水) 1日間

3. 調査実施棟数

- ・4棟

地域別棟数

	地 域	棟 数
1	熊本市中央区	1
2	熊本市東区	2
3	熊本市南区	1
	計	4

4. 調査者

- ・2名

	所 属	部 署	氏 名
1	マンション管理業協会	技術センター	山田 宏至・本田 貴士
計			2名

5. 調査結果概要

I. 躯体

①建物の傾斜

	棟数	備考
傾斜無	4	
計	4	

②主要構造部（柱、梁、耐力壁、床、コンクリート階段等）の損傷

	棟数	備考
大破	0	
中破または小破 (要詳細調査)	0	
軽微 (補修対応)	0	
損傷無	4	
計	4	

③主要構造部以外の躯体の損傷

	棟数	備考
中破または小破 (要躯体一部打ち替え)	0	
軽微 (補修対応)	4	
損傷無	0	
計	4	

II. その他（躯体以外）の損傷等

	棟数	備考
タイル剥落、ひび割れ	1	
外装仕上げ材落下	1	
ブロック塀破損	1	
地盤沈降	2	建物周囲（床タイル仕上破損含む）

以上

平成28年熊本地震 被災状況調査写真

	<p>【主要構造部材以外の躯体損傷】</p> <p>廊下側壁のひび割れ</p>
	<p>【主要構造部材以外の躯体損傷】</p> <p>廊下側壁のひび割れ</p>
	<p>【主要構造部材以外の躯体損傷】</p> <p>廊下側壁のひび割れ</p>
	<p>【主要構造部材以外の躯体損傷】</p> <p>1階駐輪場側壁のひび割れ</p>

平成28年熊本地震 被災状況調査写真



【主要構造部材以外の躯体損傷】

1階駐輪場側壁のひび割れ



【主要構造部材以外の躯体損傷】

メーターボックス内壁のひび割れ



【主要構造部材以外の躯体損傷】

廊下手摺壁のひび割れ



【その他の損傷等】

エントランスロビー壁タイルのひび割れ

平成28年熊本地震 被災状況調査写真



【その他の損傷等】

外壁仕上げ材の剥離



【その他の損傷等】

ブロック塀控え部分の転倒



【その他の損傷等】

アプローチ部分床の沈降(タイルひび割れ)

余白